

エネルギー教育関連教材

教材名：「放射線測定器を利用した放射線の観測」

No.3

領域・学年：理科・中学校3学年

単元：地球の明るい未来のために

「原子力の利用と課題」

目標：科学技術の発展の過程を知るとともに、科学技術が人間の生活を豊かで便利にしてきたことを認識すること。

内容：

放射線測定器を利用し、教室内の空間線量や鉱物や様々な物質の線量を測定し、日常の身のまわりの放射線量や年間の被曝量、放射線が人体に与える影響などについて学習した。線源としては理科室の鉱物標本と塩化カリウムを利用した。



児童・生徒の感想：

- ・理科室の鉱物の中に、まわりよりも高い放射線を出すものがあってびっくりした。
- ・食品添加物の中にも放射線を出すものがあって驚いた。でも、大量に摂取しなければ大丈夫だということを知った。
- ・エネルギーは大切だけど、安全も大切なので、原子力の利用についてはよく考えていきたい。